

梅や水仙が咲き、桜も芽吹き始めています。

新しい季節の到来を感じさせるとなりました。

本日ここに、令和5年度 東京都立大森高等学校 全日制課程 第76回卒業式を挙行するにあたり、御多用の中御臨席賜りました、御来賓の皆様には、謹んで御礼申し上げます。

ただいま卒業証書を授与した三年生の皆さん、改めて卒業おめでとう。ようやくコロナ禍の様々な制限が外れ、毎日の授業や部活動だけでなく、体育祭や文化祭、周年式典などの行事を共に作ってきた最上級生が学校を去ることに、一抹の寂しさを感じているのは私だけではないと思います。しかし、ここに至るまでの皆さんの努力を讃え、在校生諸君や先生方と共に、満面の笑顔で皆さんを送り出したいと思えます。

保護者の皆様におかれましては、この卒業式を迎えるまで、様々な御心配やご苦勞もあったことでしょうか。本日、この晴れの日を迎えられま

したこと、校長として共にお喜び申し上げます。

こんにち

また、今日まで本校の教育活動に御理解と御協力をいただきまして、ありがとうございます。改めて御礼申し上げます。今は十八才が成人となりましたから、卒業生の多くが既に成人ではありますが、いくつになっても家族や友人知人の支えがあつてこそ、安心して進んで行けるものです。どうか、今後も温かく見守ってくださいますようよろしくお願いします。

さて、今年は、いきなり能登半島地震から始まる、という衝撃的な新年の幕開けでした。式辞の最中ではありますが、被災された方々へ心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。今もまだ、復興には時間がかかりそうな報道が続いています。一方、国際的には、戦争や紛争が続いている地域があり、日本も全く無関係と言うわけではありません。そこで、皆さんには、決し

て悲観的になるのではなく、また、他人事だと切り捨てることなく、関心を持ち続けて欲しいと思います。自分はどうか考えるかとか、今の自分には何ができるかとか、すぐに行動に移すことはできなくても、考える、ということが大切なのです。考え無しでいると、いざという時に思わぬ方向に巻き込まれてしまいかねません。様々な視点から、物事をよく見て、他人の話をよく聞き、自分でよく考える力を身に着ける、それが、高校で学んだことの意味であるはずだからです。

日本を代表する企業であるパナソニックを創業した松下幸之助氏がこんな言葉を残しています。「とにかく考えてみることに、くふうしてみること、そしてやってみること。失敗すればやりなおせばいい。やりなおしてダメなら、もう一度くふうし、もう一度やりなおせばいい。同じことを同じままにいくら繰り返しても、そこには

何の進歩もない。」松下氏のこの考え方に基づいて、数々の画期的な技術を駆使し、パナソニックは多くの家電品を生み出してきました。彼のこの言葉は、一企業にとどまらない、人生の大切な一面を説いているように私は感じます。一度失敗してもそれを糧にして再度トライする重要さは、既に皆さんもよくわかっていると思います。失敗したらやり直せばいいのです。しかし、やり直す時にわずかでも工夫を凝らすことができるかどうか、そこが大切なのです。前例踏襲では、同じ失敗を繰り返すだけで、進歩がありません。

そして、大森高等学校の校訓は、「敬愛 誠実 努力」です。機会あるごとに伝えていますが、それこそが、「人間力」の象徴であると私は考えています。平和な日常だけでなく、何か非常事態が生じた時にこそ、一人一人の人間力が試されるのです。皆さんは今日、高校を卒業しま

すが、自分の持てる力を発揮し、誰かとその力を合わせて生きていくために、これからも人間力を磨く努力をし続けてくれることを願っています。「敬愛 誠実 努力」を基に、自分の人生を切り拓く工夫を凝らしてください。

ところで、シンガーソングライターでグラミー賞を十七回も受賞したブルーノ・マーズという人がいます。彼は、「I think that success is having fun 成功というのは、楽しむこと」と言っているそうです。心から楽しむことが、成功につながる、と説いているのです。皆さんの中には、もしかしたら大森高校に入学したことが消極的な選択であった人がいるかも知れません。もちろん、前向きに高校生活を楽しんだ人も多くいるでしょう。それぞれ考え方や感じ方が異なっても、今日、高校卒業という目的は同時に達成しました。これから先は、また新たに、別々の道を別々の理由で歩いていくわけです。どうか、森

高を卒業したことに誇りと自信を持ち、これから先を堂々と歩んでいってください。自分の人生を楽しめるかどうかは、自分次第です。後悔や反省ばかりの人生ではなく、努力の成果を成功として楽しむ人生であってほしいと願っています。小さな成功であっても、積み重ねて大きな成功につなげましょう。形あるものはいつか壊れていくこともあります。身に着けた知識とそこから生み出される知恵とは、決して減びることはありません。

結びに、卒業生の皆さんの健康と幸せをお祈りし、本校で築いた友情やよき人間関係が続くことを願い、式辞といたします。

令和6年3月7日

東京都立大森高等学校長 池田 美穂